

平成 25 年 2 月 20 日

## 2 月の木材価格・需給動向

### 1．国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引続き順調で、間伐材中心に平年並みの入荷。寒波により丸太引取りが遅れたが 2 月に入り回復の兆し。荷動きはスギ柱材、中目材とも好転の気配。ヒノキは柱材は順調で中目材は弱い。価格はスギの柱材、中目材ともに保合。ヒノキの柱材は強保合、中目材は弱含みで値下げ。群馬の製材工場の操業状況は、寒気厳しく原木凍結で生産効率悪い。原木の入荷はスギ中目材にやや不足感。スギ、ヒノキ原木とも買気弱く保合続く。製品はブランド化事業物件で若干の動き。県の家づくり補助事業の 25 年度予算は、実績値では前年度同様。

### 2．米材

12 月の米国新設住宅着工は、前月比 12.1%増の年率 95.4 万戸で、2008 年 6 月以来 4 年半ぶりの高水準。米国丸太価格は、住宅着工の回復で引続き地場製材需要が旺盛で強含み。カナダ丸太はオールド、セカンドともに玉不足で価格は強含み。産地の港頭在庫は、出庫順調で 1 月末は減少の様。ウェアハウザー社の 2 月積み米マツ IS ソートは前月比 20\$ アップ。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這い。国内大型港湾製材工場の 1 月の動きは引続き好調。内陸部製材工場の荷動きは総じて低調。製材品の TLT(東京木材埠頭) 1 月入荷量は、94.0 千 $m^3$ で前月比 27%増。出荷量は 78.5 千 $m^3$ で同 5.6%減、在庫は同 15%増。産地情勢は、需要が引続き旺盛。冬場で増産ができず需給は引き締まった状況が続く。産地価格は大幅高を続けてきたが、ここに来て若干の調整局面に入る。春季需要期に需要が続伸すれば一段高も予測される。冬場にもかかわらず荷動きは堅調。円安と産地高で先行き大幅コストアップが見込まれ原料確保の動きもあるが、産地事情により大幅増加は見込めない。足元産地価格は昨年末比 30%アップと急激な上昇。

### 3．南洋材

サバは雨季と旧正月を控え、原木の出材量は僅少、製材工場の在庫少なく暫く

は大幅な出荷減。昨年来の原木高・人件費アップ、注文減等からリスク回避のため多くの工場で原木仕入をやめ、賃挽き等の請負で当座を凌いでいる。製材工場の減少は、将来日本向け製材品の減少に繋がりが懸念される。サワクもサバ同様に原木の出材量は少く原木高が続き、製品への転嫁が叫ばれている。PNG・ソロモンは消費国からの引合い悪く、出材・価格ともに低迷。南洋材丸太の入荷は増加、出荷・在庫、製材品の入荷はいずれも横這い。原木の販売は合板・製材用とも変わらず。製材品は為替の急落を受け、全ての製品で今後、価格高騰が予想され、入荷減少の中で注文多く荷動き良い。

#### 4．北洋材

ロシア極東は12月下旬からの大寒波でワニノ港が凍結し、本船接岸できず、全体的に配船が大きく遅れる。中国向け貨車渡は依然好調で、日本向けは限定的。シベリア地方も記録的な大寒波で、伐採は不安定。政府の輸出枠の発給が混乱し、各シッパーは1月の輸出用新規貨車出しが出来ず、満州里、日本向けともにアカマツの供給不足が深刻。富山新港の1月丸太入荷量は13千 $m^3$ (エゾマツ8千 $m^3$ 、カラマツ2千 $m^3$ 、アカマツ3千 $m^3$ )、製品は6千 $m^3$ 。価格動向は、丸太・製材品とも入荷不足と急激な円安で強含み。国内挽き製材品も原版価格が値上がり。荷動きは丸太、製材品とも順調。在庫状況は0.5ヶ月位で変わらず。国内製材工場の採算状況はエゾマツ、アカマツとも不採算。稼働状況は原木入荷減少で生産調整。

#### 5．合板

米材丸太は米国の住宅着工回復傾向と為替の影響で価格上昇、南洋材は雨季で伐採量少なく価格も上昇傾向。12月の国内合板生産量21.9万 $m^3$ のうち、針葉樹合板は20.2万 $m^3$ 、出荷量は21.1万 $m^3$ で高水準をキープ。好調な出荷により在庫量は17.1万 $m^3$ と大幅に減少。針葉樹合板を中心に全てのアイテムで品薄気味。国産南洋材合板は原料丸太の国内価格が上昇。針葉樹合板は各メーカーともに値上げを推し進めているが、年末からの物流停滞による仮需発生と受注残が増加する悪循環が進行。輸入合板は全てのアイテムでタイトになっており、価格は強気で少量の手当てしか出来ない状況。12月の入荷量は33.9万 $m^3$ で最高値を記録したが、出荷も絶好調で荷余り感は全くない。先行き針葉樹合板は、当分デリバリー混乱のため価格は段階的に値上げの模様。輸入合板は急激な値上げが予測される中で、先高を見越した早めの手当てが続いており、在庫の回転も速く順調。

## 6．構造用集成材

原料・ラミナの入荷は昨年末のコンテナ不足の影響で多少減少。現地は暖冬で今後 WW が減少。価格動向は、急激な円安の影響と、現地価格の高騰で今後も値上がりが見込まれる。国産集成材は受注・販売・荷動きいづれも良好。在庫は極めて少ない。輸入集成材も現地価格が上昇し、数量減で在庫も少なく値上げしやすい状況。現地メーカーの増産は期待薄で、暫くは不足感から値上がりが続く。特記事項として集成材の原料高による製品高騰が止まらない。関東中心に職人不足は益々深刻となっている。

## 7．市売問屋

国産材の構造材は、昨年末より先行きに明るさが見えるものの実需が伴わない。スギ柱角グリーン材に多少の値上げ。造作材はリフォーム需要が好調で小口ながら動き良い。建具材もスギ、青森ヒバの引合い強い。外材の構造材は入荷遅れや円安により一部製品に欠品。相場は強基調だが実需が弱く逼迫感なし。造作材はスプルースの引合い多いが、入荷少なく依然ニーズに対応困難。販売状況は内外材とも一部製品に品薄感や欠品も出たが、実需感なく市日で当用買いに徹している状況。手持の仕事に差があるものの、全般的に過熱した動きはなく、買方の空気は冷静、今後の推移に期待。

## 8．小売

国産材の構造材はスギ KD 柱、小割、板割、ヒノキ KD 柱、土台いづれも保合。外材は米ツガ KD 平割、正角、ロシアアカマツ垂木ともに強保合、WW 間柱も強保合。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なく引続き強保合。WW、RW 集成材は梁、柱とも強保合。合板は針葉樹、ラワンともに強保合。床板、フローアは変わらず。プレカット工場の動向は、大手メーカーが 20%アップを表明し、今後の見積に影響。他メーカーも追随気配だが、受注減の中で価格転嫁が課題。木材、合板の一斉値上げで、流通在庫少なく、やりくりが困難な状況。

2月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m)2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	↗
			スギタルキ3.0×4.0×4m	↗
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ カスケード(カナダ産)	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m)特等	↗
			アカマツ(3.0×4.0×4m)特等	↗
			カラマツ(10.5×10.5×4m)特等	-
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↑
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↑
	スギ 無化粧		↑	
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↑
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗